

～大槌町のみなさまへ～

大槌町では、心身の健康増進、子どもの健全な発育、町民の憩いの場になる空間の創出のため、町内にひろばを整備することを検討しています。今回はひろばの整備にあたり、「(仮)みんなのひろば」検討ワークショップ第1回を開催しましたのでお知らせします。

～ワークショップの概要～

ワークショップはソフト・ハードによる2部構成で全6回を予定しております。また、高校生や小中学生による分科会も予定しています。

第1回
R5.1月中旬
～テーマ～
大槌の「今」を知ろう！

第2回
R5.3月上旬
～テーマ～
どの場所になにつくろう？

第3回
R5.5月下旬
～テーマ～
広場の姿をイメージしよう！

第4回
R5.8月
～テーマ～
広場のカタチを決めよう！

第5回
R5.9月
～テーマ～
広場にみんなの想いを
そそぎこもう！

第6回
R5.11月
～テーマ～
～ヒトゴトからジブンゴトへ～
広場と向き合いこれからを考えよう！

第1回ワークショップ結果概要

第1回ワークショップの内容

◎開催日時：令和5年1月18日（水） 18：00～20：30

◎会場：大槌町文化交流センターおしゃっち

◎参加人数：9名

◎テーマ：大槌の「今」を知ろう！

【第1部】：大槌町の現状や町内外の公園の実態を知ること大槌町内にどのような空間が必要なのか、望まれているのかを考えます。

【第2部】：各候補地について、参加者それぞれの思いや場の持つイメージを出し合うことで、メリット・デメリットを洗い出します。

第1部の結果(ソフト面)



ワークショップの様子

「大槌にはどんな『ひろば』が必要でしょうか？」 ※意見の抜粋

- ・様々な世代が集える空間
- ・車の往来が激しくない広場
- ・ボール遊びができる
- ・人が人を呼ぶ広場
- ・緊急時に子どもたちだけで避難できる
- ・水遊びができる（井戸水や噴水、ミストなど大槌の水資源を活かす）
- ・町外からも人が集う広場
- ・地域の方が子どもたちを見守ることができる広場
- ・軽い運動や散歩ができる
- ・お弁当を持ってこられる

第1部では、多世代の交流・安全・子どもの見守り・遊びというカテゴリについての意見が目立ちました。「子どもから高齢者まで様々な世代が集まる空間が必要」、「子どもたちが自由に遊べる安全な環境がほしい」、「町民が遊んでいる子どもたちを見守ることができる広場」などの意見をいただきました。

第2部の結果(ハード面)

ひろばの候補地になっている場所は①旧岩手県立大槌病院跡地、②旧大槌町役場庁舎跡地の2箇所です。各候補地についての思いや場の持つイメージを出し合い、メリット・デメリットを考えていただきました。

「各候補地において、メリット・デメリットとを感じる部分はどんなところでしょうか？」 ※意見の抜粋

①大槌病院跡地

メリット	敷地にゆとりがあり、車道に面するところが少なく安全。駐車場やトイレが野球場にすでに整備されている。
デメリット	人通りが少なく、大人の目が届きにくい。川が近く危険。

②大槌役場跡地

メリット	おしゃっちでイベントがよく行われるため、大人の目が届きやすい。
デメリット	敷地自体にゆとりがなく、車通りが多い。震災伝承の場でもあることから、整備内容が制限される。

①大槌病院跡地については、「敷地の状態が良い」、「交通面での安全性が高い」とのご意見が多くあり、一方で「大人の目が届きにくい」というデメリットがあるという意見もありました。②大槌町役場跡地については、「おしゃっちに近い連続性がある」というメリットがありましたが、「車通りが多い」、「津波の犠牲となった職員及び遺族との話し合いが必要」といった、役場跡地が「伝承の場」でもあることから、整備内容が制限されることが課題となる可能性があることが、意見として上げられました。